



(別紙)

(注)

1 「1 集団処遇の実施状況」について

(1) 次の区分に基づき、該当する値を記入すること。

区分: ① 個別SST

② 集団SST

③ 酒害・薬害教育

④ 就労支援

⑤ 社会奉仕活動

⑥ 教養訓練

⑦ 各種集会

⑧ レクリエーション

例) 酒害教育, 薬害教育, 薬物依存回復プログラム, 回復者による講話

例) 就労に関する講座やセミナー, 求職座談会・相談会

例) 地域清掃活動, 地域活動へのボランティア参加

例) 教養講座, 各種教室(料理, パソコン, 絵手紙等), 交通安全, 法律相談, 防災・救命訓練, 自己啓発

例) ミーティング, 法話, 被害者供養, 元被保護者の卓話

例) 季節行事, コンサート, 誕生日会, 旅行, 地域との交流会, スポーツ, 観劇

(2) 「実施協力者」の欄は、集団処遇の実施に当たって協力を得た者について、○を選択すること。いずれにも該当しない場合は「その他」について○を選択し、その身分や職業等を記入すること。

2 「2 その他の特徴的な処遇の実施状況」について

(1) 本欄には、集団による心理学等の専門的な知見に基づくアプローチ(上記1(1)の区分に該当するものを除く。)を記載すること。(例)コラージュ療法, 箱庭療法等

(2) 行数が足りないときは適宜、行を増やして作成すること。